報道資料

彦根市
Hikone City

令和５年(2023 年)12 月８日

彦根城博物館にて「具足飾」の展示を行います

このたび、彦根城博物館の正月行事となっております「具足飾」の展示を行いますのでお知らせします。つきましては、広報についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　展示期間

令和６年(2024 年) １月１日(月・祝)～１月 10 日(水)
開館時間：午前８時 30 分～午後５時（ただし入館は午後４時 30 分まで）

２　会　　場

彦根城博物館　展示室２
※展示室の入室には観覧料が必要です。

一般	500 円（450 円）	
小・中学生	250 円（170 円）	（　）内は 30 名以上の団体割引料金

３　展示の趣旨

武家が鎧を飾って祝い事をする風習は、室町時代から始まったとされます。出陣や凱旋をはじめ様々な祝い事がありましたが、飾りの形式が整えられたのは江戸時代に入ってからのことです。

正月には、具足とともに太刀・弓具が飾られ、鏡餅が供えられました。正月 11 日には、この餅を開いて食する習いとされました。

４　展示作品　※いずれも当館所蔵品

【具足】滋賀県指定有形文化財　朱漆塗紺糸威縫延腰取二枚胴具足　１領　桃山～江戸時代
彦根藩井伊家２代・直孝(1590～1659)所用と伝える具足の１つ。朱漆を基調とし、兜に金箔押しの大天衝を脇立とした、いわゆる「井伊の赤備え」の形式です。

【太刀】太刀 拵　　１腰　江戸時代
【弓具】重藤弓　　１張　江戸時代

【燭台】鉄燭台（てつしょくだい）　　１対　江戸時代
【三宝】黒漆塗橘紋蒔絵三宝（くろうるしぬりたちばなもんまきえさんぼう）　　１基　江戸時代

５　画像提供

滋賀県指定有形文化財　朱漆塗燻韋威縫延腰取二枚胴具足　１領
桃山～江戸時代　当館蔵

６　その他

（１）希望する報道機関を対象に、12 月 25 日（月）午後１時以降に具足飾を公開します。展示は既に完了した状態での公開ですが、ご要望があれば、学芸員が飾りつけをしているようなポーズをとらせていただくことも可能です。

※希望される報道機関は、前日 24 日（日）午後５時までに、電話で担当者宛てに申し出てください。

（２）12 月 25 日（月）～31 日（日）の間は休館いたします。本件への問い合わせにつきましては、12 月 24 日（日）までにお願いいたします。

問い合わせ先
彦根城博物館 学芸史料課
担当：茨木 恵美
電話：０７４９－２２－６１００